令和５年度　江戸川区立清新第二中学校　学校関係者評価　年度当初・中間報告書

学校教育目標	人間尊重の精神を基調として個の伸長を目指すとともに、人とのかかわりをとおして豊かな人間性を培うことや、魅力ある教育活動をとおして確かな学力の定着と豊かな心の育成を図る。	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・生徒が登校したくなり、夢や目標がかなえられるような学校づくり。地域コミュニティーの核となる学校づくり。 ・個の伸長を目指し、確かな学力を身につけ、豊かな人間性を培える生徒。 ・反省する謙虚さ、前向きな思考を持ち、専門性の向上、社会人としての常識を備え、魅力ある授業を構築できる教師。
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞タブレット端末を利用した効果的な授業づくりを課題とし、研修した結果、生徒の深い学びにつなげることができた。今後も研鑽を積み、さらに対話的で深い学びを目指す。 ＜課題＞対話的で深い学びをしっかりと基礎学力につなげていけるよう、創意工夫する必要があり、今後の課題とする。		

教育委員会重点課題	＜取組項目＞ ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・誰一人取り残さないための学力向上アクションプランをもとに学力向上を目指す	・週末テストの実施 ・KGP（家庭学習プロジェクト）の実施 ・ICT機器の活用やユニバーサルデザインの考えに基づく授業改善	・各学年毎週1回。80点以上合格率8割を目標。表彰あり ・毎日2ページを目標とする ・学期に1回指導案（略案）をつくり、管理職や教員同士で助言						
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・図書館の教科ごとの活用 ・学年ごとに行う「お気に入りの本のポップづくり」「おすすめの一冊」等の取り組み ・図書室の積極的な利用 ・ビブリオバトル（本の紹介）の実施 ・書籍やインターネットを利用して、興味のある事柄を調べ、紙面にまとめる。	・各教科ごと年5回実施 ・読書科においてポップづくりを年3回実施 ・図書館利用者と冊数を把握し、毎月の利用者と冊数を増加させる ・年1回各クラスで行う ・2学年が夏季休業中に行い、2学期に発表						
	＜放課後学習教室の充実＞ ・放課後学習教室（英語・数学）の充実	・放課後学習教室担当の外部業者との連携を強化し、学力の分析や具体的な支援を検討、実施する。	・学期に1回連絡会を開催し、検討する。						
体力の向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞ ・体育の授業における補強運動の充実 ・昼休みの外遊びの奨励 ・マラソン大会の実施	・準備体操後の補助運動を種目や学年を考慮し実施 ・昼休みの校庭使用呼びかけ。 ・12月に予定している「マラソン大会」に向けての継続的な体力向上の取り組み	・毎回の授業における補強運動 ・毎日の呼びかけ。雨天時はサブアリーナ開放も検討 ・マラソン大会に向けた練習の充実（2週間前から）						
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・過去2年間の研究結果を元に、ユニバーサルデザインの考えに基づく授業づくり、学級経営を確立させる ・エンカレッジルームの柔軟な活用を、担当教員中心に考えていき、不登校生徒の教室復帰を図る ・臨海青海特別支援学校との直接、間接交流を充実させる	・2学期までに取組結果をまとめ、学校として統一した取り組みを確立させる ・6月までに対策を考え、実施、見直しを繰り返す ・行事での直接交流を中心とし、個に応じた対応を考える						
子どもたちの健全育成	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypaer-QUの活用	・不登校対策担当教員を中心として、不登校生徒へのかかわりを強く保持できるように努める。また、新規の不登校生徒を出さないように予防策を検討、実施する。 ・話やすい先生への相談週間の実施 ・hyper-QUを活用し、過ごしやすいクラスづくりの実現に努める	・年間を通して、対策の実施と見直しを図る。週1回不登校対策委員会を実施。 ・年間5回の相談週間を実施 ・6月にhyper-QUを実施し、結果と現実を分析して、2学期初めから対策を実施						
	＜特別の教科　道徳の充実＞ ・特別の教科　道徳の充実を図り、健全育成を推進する。	・考え、議論する道徳を目指し、授業の工夫・改善を図る。	・全員が年間1回の研究授業を行い、管理職やほかの教員から助言を行う。研究の成果を冊子にまとめる。						
地域に広く開かれた学校（園）の実現	＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・普段の様子をホームページ等で発信 ・土曜授業だけに限らずすべての行事等も公開 ・地域のボランティア活動への積極的な参加	・管理職、各学年の担当による、毎日のホームページ更新 ・4回の土曜授業と行事をすべて公開。その他にも、地域の方等には随時公開（案内） ・地域の活動があるごとに学校で紹介し、ボランティア等での参加を促進						
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・土曜公開授業時に学校評議員会を開催 ・行事等も積極的に足を運んでいただけるように案内する ・普段の様子をホームページ等で発信	・年間3回評議委員会を実施 ・行事毎に案内状を送付 ・管理職、各学年の担当による、毎日のホームページ更新						
特色ある教育の展開	＜学校における働き方改革プラン＞ 「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・定時退勤日を設ける ・業務の見直しを図る研修の実施 ・業務、部活動の均等化を図る	・学期に1回（定期考査2日目）+設けられる日を検討 ・1学期中に研修 ・習慣を中心とした業務の割り振り、見直し（年2回）						